

## 秩父札所17番定林寺奉納絵馬の調査報告 祈願内容の変化にみる伝統的な巡礼地におけるアニメ聖地の定着

浅見太暉・逸見二葉・齋藤夢歩・原島歩果（埼玉県立秩父高等学校）

### はじめに

本稿は、令和7年度に埼玉県立秩父高等学校（以下「本校」と記す）の「総合的な探究の時間」<sup>(註1)</sup>（以下「総探」と記す）において実施した実正山定林寺（写真1、秩父札所17番、埼玉県秩父市桜木）の奉納絵馬についての調査報告である<sup>(註2)</sup>。

秩父地方は伝統的な観音巡礼地である。秩父札所34カ所は西国、東国（坂東）と合わせて日本百観音巡礼に数えられる。本稿で取り上げる定林寺も札所を構成する寺院のひとつであるが、秩父市を舞台にしたアニメ作品『あの日見た花の名前を僕たちはまだ知らない。』（岡田麿里、2011年、以下『あの花』と記す）に描かれ、作品のファンが多く訪れる「聖地」の地になった。本稿で調査の対象とした定林寺の絵馬は、このアニメのキャラクターが描かれたものであり、関連会社からの売り込みにより平成23（2011）年9月に設置された比較的新しい習俗である。この奉納絵馬は、すでにいくつかの先行研究に取り上げられているが、近年の動向をふまえたものは管見の限りみられない。そこで、本稿では、納経所にて許可を得たうえで、令和7（2025）年8月時点で絵馬かけ（写真2）に残された絵馬をすべて写真撮影し、祈りの傾向を分析した。この結果を先行研究と比較することにより、アニメ聖地において、祈りの傾向にど

のような経年変化があるかを明らかにし、そこから何が言えるのかを考えたい。

### 定林寺ならびにその絵馬について

定林寺は曹洞宗寺院である。現在は秩父札所17番であるが、現存する最古の史料とされる『長享二年番付』（1488年、法性寺蔵）においては第1番札所であった（佐藤，2009）。元々は地元で秩父神社の触役をつとめていた林家の持寺であったが、林家が北海道に移転した後、近隣住人によって管理され、現在は、無住で納経所には桜木町の世話人会が詰めている。

本稿で検討するアニメ絵馬を設置した背景には、先述のように『あの花』に描かれ、作品のファンが「聖地巡礼」<sup>(註3)</sup>するようになったことがあげられる。世話人によれば、それまでは「絵馬は神社のもの」だから置いていなかったが、アニメグッズを製作する会社からの営業があり、『あの花』のキャラクターがプリントされた絵馬のみの設置を決めたという<sup>(註4)</sup>。一般に、アニメの聖地となった寺社では、奉納者によってキャラクターのイラストが手描きされた絵馬（痛絵馬<sup>(註5)</sup>）が奉納されることが多いが、定林寺の絵馬にはあらかじめキャラクターがプリントされている<sup>(註6)</sup>。絵馬は大きく大絵馬と小絵馬とに分類することができるが（岩井，1974）、定林寺の絵馬は小絵馬に相当する（タテ80mm



写真1. 定林寺本堂（2025. 8. 21浅見撮影）



写真2. 奉納絵馬かけ（2025. 8. 21浅見撮影）

×ヨコ150 mm)。

そもそも、定林寺は秩父札所を構成する寺院のひとつである。長谷部(2006)によれば、巡礼とは「複数の聖地・霊場を巡拝する行為」であり「日本では、特定の神仏や祖師などなんらかの原理に基づいて構成された聖地・霊場をめぐる場合を指すのが通例」である。浅川(2025)は巡礼を「聖なるものに関連づけられた特別な場「聖地」に赴く行為」と定義し、現代日本の巡礼を「小聖地のセットをめぐる複数聖地型と一つの聖地を目指す単一聖地型の二つのタイプ」に整理した。これをもとに本稿の対象とする秩父札所を整理すると、伝統的な巡礼は「複数聖地型」、アニメ聖地としての性格は「単一聖地型」ということができよう。定林寺の場合、観音信仰に基づいて巡礼者が結願をめざして訪れる宗教的な空間である。一方で、『あの花』のファンにとって、定林寺は作品に描かれた「聖地」に過ぎず、作品のファンが他の札所へも足を運ぶことは稀である(今井, 2018)。

由谷(2014)が「秩父三十四所の観音巡礼者が誤って購入した場合を除き、奉納者は『あの花』ファンと見なせる」と指摘するように、初期の定林寺の絵馬は伝統的な観音巡礼とは一線を画す、あくまで『あの花』ファンのためのモニュメントであった。絵馬は一般に大絵馬、小絵馬の別なく、「神仏への祈願あるいは報謝のために神に捧げる」ものであるが(岩井, 1974)、定林寺の奉納絵馬は、こうした宗教的性格を有するものではなく、奉納されずにお土産として持ち帰られることも多い。

以上のように定林寺の奉納絵馬はアニメ放映に端を発する比較的あたらしい習俗ではあるが、アニメの聖地として知名度が高いこともあってか、すでにいくつかの先行研究が存在する。ここでは代表的な研究を概観してみたい。

由谷(2013)は、奉納絵馬635枚の悉皆調査を実施し、祈願文の内容分析を試みた。①他の寺社の奉納絵馬と類似する祈願内容、②定林寺に特有と考えられる祈願内容、③『あの花』の作品やキャラクターに特化した祈願内容に大別し、定林寺の奉納絵馬には『あの花』の世界観に強く影響された祈願が多くみ

られることを指摘した。今井(2018)は、世話人会への聞き取りや絵馬の調査から、キャラクターの設定や作品のテーマが絵馬の祈願内容に影響を及ぼしていること一たとえば、成績優秀な「つるこ」の絵馬には合格祈願や学業成就に言及したものが多しなど一を指摘した(註7)。

両論で扱われている調査はいずれも、アニメの放映からさほど時間が経っていない時期に実施されたものである。その後、アニメ放映から10年以上が経過し、観光学の視座から『あの花』をテーマにした研究はみられるものの(天野, 2016)、定林寺の絵馬に着目したものはみられない。また、「10年後の8月」(註8)に代表されるような『あの花』の世界観が現実の世界にどのような影響を与えるのかに着目してアニメ聖地の変化を追った調査報告は管見の限りいまだに報告されていない。

なお、世話人によれば絵馬かけが一杯になると大晦日にオタキアゲをするようで、今井・由谷が調査した頃の絵馬はすでに存在しない(註9)。一般に小絵馬は大量に奉納されるために残されにくいことが指摘されている(大久根, 2024)。このように奉納された小絵馬が残らない状況は長期的視点に立った小絵馬研究のひとつの障壁となる。実際、定点観測的な小絵馬研究、とりわけアニメ聖地と関係するものは数少ない。絵馬に書かれた願いは世相を映す鏡であり、継続的な記録調査からその傾向の変化を追うことができれば、聖地における奉納者による祈願の実態をより具体的に浮かび上がらせることができる。

本稿は先行研究の知見を踏まえつつ、定点観測的に収集した奉納絵馬のデータに基づいてアニメ聖地の変化を考察するものであり、アニメ聖地研究ならびに小絵馬研究に新たな視角を提示することをめざす。

## 調査方法について

令和7(2025)年8月21日に現地調査を実施した。納経所にて世話人に許可をいただき、逸見・齋藤・原島が分担してすべての絵馬を個人所有のスマートフォンのカメラで撮影した(写真3)。その後、納経所にて世話人から聞き取り調査を実施した。

調査時点では、定林寺には617枚の絵馬が

存在した。撮影した写真データが膨大な枚数になってしまったため、授業において生徒—教師間で連絡をとるために使用していた Google Classroom ではデータを共有することが難しい状況になった。そのため、学校がライセンスを所持する Google Drive 上に浅見が共有ドライブを作成し、共有フォルダ内に格納した。こうすることにより、生徒間、ならびに生徒—教師間において膨大なデータの共有を可能にした<sup>(註10)</sup>。

なお、調査同日、同じく秩父地方が舞台となったアニメ作品『心が叫びたがってるんだ。』（岡田麿里、2015年）に描かれたことにより、そのファンが訪れるようになった秩父札所十番萬松山大慈寺（横瀬町）においても同様の絵馬の悉皆調査を実施したのだが、こちらは別稿に譲りたい<sup>(註11)</sup>。



写真3. 調査の様子 (2025. 8. 21浅見撮影)

### 分類について

本節では、絵馬の祈願内容の分類結果を由谷（2013）との比較の形で提示する（表1）。絵馬の分類は授業時間内に行ったが、分析や協議については授業時間だけではなく放課後の時間も活用した。

調査項目は由谷（2013）を基本として、必要と思われる項目をいくつか追加した。由谷（2013）では絵馬一枚に対して一項目を割り当て、「以上の複数に言及したもの」という項目を立て、祈願内容をまとめている。本研究では、祈願の傾向をより詳細に把握することをめざしてきたため、複数内容に言及しているものに関しては、一枚一項目に限定することなく重複して計上することにした<sup>(註12)</sup>。結果的に、複数内容に言及する絵馬が84枚確

認された。したがって、先述のように調査時点で定林寺には617枚の絵馬が奉納されていたが、総データ数は701ということになる。比較の結果、大きく増減がみられた項目については、±3%を目安に○を付すことで強調した。なお、本調査に際して、由谷（2013）にはなかった項目として「能登震災復興」と「痛絵馬」を追加した。先行研究との比較の結果を示す前に、追加した項目について簡単に触れておきたい。

まず「能登震災復興」について。由谷（2013）の調査は、平成23（2011）年の東日本大震災からさほど時間が経過していない時期に実施されており、災禍からの復興を願うものがいくつかみられた。今回の調査では、東日本大震災について言及したものはみられなかったが、令和6（2024）年1月1日に発生した能登半島地震の復興に言及したものがみられた。由谷（2013）はアニメの放映時期が震災直後であったことから、「定林寺に特有と考えられる祈願内容」として「東北震災復興」を立項している。たしかに文中には福島県南相馬市から来たファンによる祈願文が1つみられるが、それ以外はアニメとの関連はみられず単に復興を祈るものである。定林寺は作品と現実の境界に位置する聖地であるとはいえ、震災復興を作品と結びつけるのは少々強引であり無理があろう。むしろ、「震災復興」については、時勢を大いに反映した「他の寺社への奉納絵馬と類似する祈願内容」であるといえよう<sup>(註13)</sup>。

痛絵馬については、由谷（2013）では分類表には立項されていないが、本文中に「いわゆる痛絵馬に近いもの」は全体の2.7%程度であることが言及されている。祈願が主ではあるものの、イラストが付されているものまで拡大して数えると全体の14.5%にまで跳ね上がる（由谷、2013）。本調査では、痛絵馬に該当するイラスト入り絵馬は28枚、絵馬の総枚数の4.5%にとどまった。アニメ放映から10年以上が経過し、かつてのような数の手描きイラスト入り絵馬はみられなかった。

### 結果と考察

本節では由谷（2013）との比較をもとに祈りの傾向にどのような経年変化があるかを明

表 1. 由谷 (2013) と本調査結果の比較

上位分類	下位分類	由谷 (2013)		本調査 (総枚数617、重複84)		比較	±3%以上
		総データ数	割合	総データ数	総枚数に占める割合		
①他の寺社への奉納絵馬と類似する祈願内容	合格祈願・学業成就	26	4.1%	32	5.2%	1.1%	
	健康祈願 (含・家族に関わる祈願)	22	3.5%	56	9.1%	5.6%	○
	仕事関係 (含・求職、新生活)	29	4.6%	28	4.5%	0.0%	
	恋愛成就・良縁祈願	52	8.2%	73	11.8%	3.6%	○
	経済状況の好転	11	1.7%	2	0.3%	-1.4%	
	外国語による祈願	7	1.1%	67	10.9%	9.8%	○
	安産祈願 (含・妊娠祈願)	5	0.8%	6	1.0%	0.2%	
	交通安全	2	0.3%	2	0.3%	0.0%	
②定林寺に特有と考えられる祈願内容	秩父に関して (含・聖地巡礼感想)	32	5.0%	25	4.1%	-1.0%	
	友人関係	28	4.4%	1	0.2%	-4.2%	○
	世界平和	17	2.7%	27	4.4%	1.7%	
	皆の幸せ	18	2.8%	54	8.8%	5.9%	○
	東北震災復興	5	0.8%	0	0.0%	-0.8%	
	札所関連	3	0.5%	1	0.2%	-0.3%	
	死者供養	1	0.2%	0	0.0%	-0.2%	
	二次元・三次元	13	2.0%	11	1.8%	-0.3%	
	その他の心願成就	92	14.5%	104	16.9%	2.4%	
	以上の複数に言及したもの	80	12.6%				
	分類不可	32	5.0%	7	1.1%	-3.9%	○
③『あの花』の作品やキャラクターに特化した祈願内容		160	25.2%	175	28.4%	3.2%	○
④追加した項目	能登震災復興			2	0.3%		
	痛絵馬			28	4.5%		
	(合計)	635	100.0%	701	113.6%		

割合の分母は絵馬の総枚数の617枚とする。ただし、総データ数は重複を許している。百分率は小数第2位で四捨五入し、小数第1位まで表示した。端数処理のため、合計が100.0%にならない場合がある。

らかする。そのうえで、変化から何が言えるのか考察する。紙幅の都合からすべてを検討することは難しいため、一般的な祈願内容と定林寺に特有と考えられる祈願内容について、全体に占める割合に大きな増減がみられた項目を中心に記述したい。

### 1) 一般的な祈願内容

一般的な祈願内容に分類される項目のなかでもっとも割合が増加したのは「外国語による祈願」であった。由谷 (2013) の調査時には7枚、絵馬の総枚数に占める割合は1.1%にすぎなかったが、今回の調査では67枚、総数に占める割合は10.9%と1割にも及んだ (表1)。

(表2) は外国語による祈願の言語の内訳である。由谷 (2013) の調査時には中文 (漢語) が3枚、英語が2枚、フランス語と韓国語が各1枚であった。本調査でもっとも多くみられたのも漢語であり、外国語による祈願の大部を占める (註14)。

由谷 (2013) が「筆者の経験上、アニメ聖地の奉納絵馬や聖地巡礼ノートへの記帳には、日本人がヨーロッパ系の言語 (英語・仏

語など) で書き込んだものも存在すると思われる」と指摘するように、なかには日本語話者と思われる者による祈願文がきわめて少数ながらも含まれる。だが、奉納者の記録から、その多くは海外からの探訪者によるものであることがわかる。例えば、英語で記されたものにはアメリカ合衆国 (カリフォルニア州) やオーストリアから探訪したとみてとれる記録がある。放映から10年以上が経過し、日本国内のみならず、東アジアの国々を中心に世界各地から聖地巡礼のために定林寺を訪れるファンが多数存在することが浮かび上がる。

本調査では英語以外の言語については、翻訳ツールを駆使して (註15)、その祈願内容を検討した。外国語で書かれた祈願は、作品に関係する文言を含む祈願内容と、作品に関係しない一般的な祈願内容とに大別することができる。

前者については外国語による祈願のうち65.7%にあたる44枚が確認された (表3)。個人情報保護の観点から個人の特定に繋がる箇所を用いず匿名を条件に以下にいくつか引用する。その特徴として、「めんまみつけた！」や「10年後の8月また出会えるのを信

じて」と日本語で付言されたものに加え、「十年后我们一定会再相遇」（十年後、私たちはきっとまた出会う）、「面码找到你了!!!」（めんまみ一つけた!）、「멤버를 찾아서 여기까지 옴!」（めんまを探して、ここまで来た!）のようにアニメに関連した語を多分に含むことがあげられよう。「めんまみ一つけた!」のように、様々な探訪者が自分の国や地域の言葉で書き記したフレーズもあるように、『あの花』の決まり文句を用いた祈りが複数確認され、作品に起因する希望や再会をよしとする感情の価値づけが共有されていることがうかがえる。これは、定林寺における外国人探訪者の共通規範の形成と理解できる。Rosenwein & Cristiani (2021) は「特定の感情や目的、感情表現の規範について同一あるいは類似の評価を共有する人々のグループ」について「感情の共同体」(emotional communities) という概念を提示した。海外から定林寺を訪れる人々による祈願は、まさにアニメに媒介された国際的な一種の「感情の共同体」の存在を物語るものであり、定林寺の絵馬がグローバルなネットワークの一部として機能していることが示唆される。定林寺はアニメ放映から10年以上の月日を経て、アニメを媒介に国際的に開かれた場となったのである。

一方で、(表4) に示したように、後者、つまり、アニメに関係する語が含まれない一般的な祈願は、外国語による祈願の34.3%にあたる23枚が確認された。健康祈願や合格祈願のようなものから、日本の大学に留学している学生がその生活を顧みた日記調のものまで幅広い。

本調査はツーリズム研究ではなく、あくまで絵馬に書かれた祈願内容の分析に主眼を据えたものであるため、探訪者の行動把握、絵馬奉納者への聞き取りは実施しなかった。アニメ放映直後にはさほど多くはなかった外国からの探訪者の属性やどのような経緯で定林寺を訪れたのかを検討する今後の研究成果がまたれるが、ひとまず、アニメ聖地巡礼を目的に探訪する者、アニメとは別のルートで定林寺を訪れる外国人探訪者の存在があることが想定される。

このほか、一般的な祈願内容としてもっと

も多く言及されていたのは「恋愛成就・良縁祈願」であった(表1)。本調査では73枚が確認され絵馬の総枚数に占める割合は11.8%である。由谷(2013)でも52枚(8.2%)と「他の寺社への奉納絵馬と類似する内容」のなかではもっとも奉納枚数が多い祈願内容であった。この点、定林寺の奉納絵馬の「恋愛成就・良縁祈願」を願うものが多いという傾向には大きな変化はみられない。

「健康祈願」は由谷(2013)では22枚(3.5%)であったが、本調査においては56枚(9.1%)と絵馬の総枚数に占める割合が大きく増加した。この「健康祈願」については、新型コロナウイルス感染症のパンデミックに言及した祈願も多く、2020年代前半の国際的な時勢を反映しており、絵馬は、人々の生活や時代の空気を色濃く映し出す鏡のような役割を果たしている。

表2. 「外国語」による祈願の言語の内訳 (N=67)

言語	数	割合
漢語	47	70.1%
英語	10	14.9%
韓国語	3	4.5%
ドイツ語	3	4.5%
フランス語	2	3.0%
タイ語	1	1.5%
ポーランド語	1	1.5%
合計	67	100.0%

複数の言語で記述されたものについては、重複を許さず、その比率が大きい言語を計上した。

表3. 作品に関係する外国語祈願 (N=44)

言語	数	割合
漢語	36	81.8%
英語	4	9.1%
韓国語	3	6.8%
フランス語	1	2.3%
合計	44	100.0%

表4. 作品に関係しない外国語祈願 (N=23)

言語	数	割合
漢語	11	47.8%
英語	6	26.1%
ドイツ語	3	13.0%
フランス語	1	4.3%
タイ語	1	4.3%
ポーランド語	1	4.3%
合計	23	100.0%

## 2) 定林寺に特有の祈願内容

定林寺に特有と考えられる祈願内容の項目は全体的に減少傾向にあった。ただし、このことは定林寺がアニメ聖地としての側面を失ったことを意味しない。「『あの花』の作品やキャラクターに特化した祈願内容」は175枚(28.4%)みられるわけで、作品のファンが全く訪れなくなったわけではない。これは、何度も何度も再訪しているファンの奉納絵馬がみられたり、先述のように外国人探訪者——特に海外のファン——による絵馬奉納の増加がみられたりするなど、様々な点から『あの花』ファンによる聖地巡礼は継続されていることから理解することができる。一方で、「世界平和」「皆の幸せ」については増加した。絵馬への祈願は昨今の世界情勢を色濃く反映しているものと考えられる。

定林寺に特有の祈願内容のなかでもっとも割合が減少したのは、「友人関係」であった。この項目は由谷(2013)において「定林寺に特有と考えられる祈願内容」として立項されたものである。であるならば、話は前後するが、簡単に『あの花』のストーリーに触れておく必要があるだろう。

あらすじを以下に示す。主人公の宿海仁太(じんたん)は、かつて「超平和バスターズ」の中心的な存在であったが、幼なじみの本間芽衣子(めんま)の事故死をきっかけに引きこもりの生活を送る。ある夏の日、死んだはずのめんまの幽霊が目の前に現れ、「お願いを叶えてほしい」と頼む。それをきっかけに疎遠になっていた仲間が再び集まることになるというものである。大雑把な要約であるが、めんまの死という過去のトラウマと向き合い、仲間との絆を取り戻す過程を感動的に描いた群像劇である。「友人関係」が定林寺に特有とされるのはこうした作品の特性によるものである。

「友人関係」は由谷(2013)においては28枚(4.4%)が計上されているが、本調査では1枚(0.2%)にすぎなかった。先述のように、複数の項目に言及した絵馬については一枚一項目に固執することなく複数項目にまたがって計上した本調査において、この項目のみ極端な減少がみられた。先述のように、アニメ放映から10年以上が経過し、定林寺は

『あの花』ファンのみならず多様な人びとに開かれた場になったこと、また、世の中が大きく変化するなかで、「友人関係」以外の項目への祈願が優先されたことなどが理由のひとつと推測される。

## 総括

ここまで由谷(2013)の調査結果との比較結果を概観し、10年以上の歳月のなかで定林寺の奉納絵馬の祈願内容やそれを取りまく環境にどのような変化が生じたのかを整理した。ここでは、そこから何がみえてくるかを総括する。

先述のように、定林寺は伝統的な巡礼地を構成する札所のひとつであるが、アニメ聖地としての意味づけは比較的新しいもので、従来の宗教空間とは一線を画すものであった。アニメ放映の直後、由谷が調査をした際には、キャラクター描かれた絵馬は、伝統的な巡礼地とは異質のものであり、あくまで『あの花』ファンのためのモニュメントであった(由谷, 2014)。先行研究との比較から明らかになったのは、かつては『あの花』ファンのためのモニュメントであった絵馬には、作品に関係しない一般的な祈願内容も多く見られるようになったということである。絵馬の祈願傾向の変化からみえてくるのは、アニメというサブカルチャーが観音霊場という伝統的巡礼の文脈とゆるやかに融合し、伝統的な宗教空間に浸透し、やがて当地を取りまく信仰圏の中に吸収されていく過程である。これは、異質なものであった絵馬が当地において受け入れられていったということの証左であり、奉納者の構成が『あの花』ファンに限定されなくなり、巡礼者、観光客、地元住民など多様な人々にも絵馬が開かれたことを意味する。つまり、アニメ聖地としての意味づけが定着したのである。

加えて、もっとも大きく変化が見られたのは外国人探訪者の増加であった。外国人探訪者が自身の使用する言語で作品のフレーズを書き記すことも多く見られ、作品のファンの間に規範の型が共有されているようにもみえることから、国際的な「感情の共同体」の存在が想定されうる。総じて、ローカルとグローバルが交わる祈りの場としての性格を絵

馬から読みとることができる。

### 今後の展望

本稿では、他のアニメ聖地における奉納絵馬の事例を視野に入れることはできなかった。加えて、「痛絵馬」など今回の調査に際して立項したものの分類の仕方、分類そのものの厳密性は課題となる。例えば、一般的な祈願内容として、もっとも多くみられた「恋愛成就・良縁祈願」を一括りにして扱ってよいのか。そこには微妙な差異があるのではないか。本稿は祈りの傾向を把握するために量的な指標をもちいたが、これでは個々の祈りは記号となり捨象されることになる。祈りの分析を行うには個々の経験に向き合う質的な調査、具体的には聞き取り調査や祈願文そのものの意味や語りの検討も求められよう。こうした質的な調査から得られた知見を踏まえ、量的な指標の見直しを行っていく必要がある。

当然のことながら、絵馬に書かれるのは文字だけではない。島田桂一郎著『埼玉の絵馬』(1971)に詳しいが、県内各地の小絵馬には、それぞれの寺社の御利益に沿って、馬、牛、猿、蛇、百足などバラエティに富んだ絵がみられる。現在では既製品の絵馬に祈願文を書くことが主流であるが、「痛絵馬」のように祈願内容を絵で表現することもみられるわけである。アンドリュース(2015)が「巡礼地で見られる奉納絵馬のアートについては、ほとんど注意が向けられていない」と指摘し、その必要性を提起したように、今後は、絵馬に書かれた祈願文の内容のみならず、描かれた絵をフォーク・アートとして考察する視点が求められており、本研究の今後の課題である。

今後は、これらの点を詰めながら、私たちのもうひとつのフィールドである秩父札所10番大慈寺のアニメ絵馬との比較を軸に探究を進めていきたい。

### 注 釈

(註1)『高等学校学習指導要領』(平成30年告示)より開始された科目である。「探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方

生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す」ことを目標とする(文部科学省, 2018)。

(註2)本稿執筆者のうち、逸見、齋藤、原島は本校2年で伝統文化5班の班員、浅見は本校教諭で伝統文化班の担当教員の一人であり本稿の責任著者である。本校は埼玉県より県立高校学際的な学び推進事業「学・SAITAMAプロジェクト」の指定を受けている。令和7年度の「総探」は、学年別に異なる探究に取り組んだ。本稿における調査は2学年の生徒によるものであり、観光、食農業、ものづくり、まちづくり、自然、伝統文化の各分野にわかれ、秩父地域についての探究を行った。

(註3)今井(2012)によれば「ファンが作品の舞台になった場所を策定し、作品内で用いられた構図と同様の風景を見つけ出す行為」である。本稿に関わる「アニメ聖地巡礼」は、アニメファンが舞台となった場所を実際に訪れる行為を指すが、岡本(2018)によれば、こうした行為は1990年代から目立ちはじめたという。定林寺はアニメ放映の直後に上梓された『聖地巡礼ツーリズム』に既に「アニメの聖地」として取り上げられている(川崎, 2012)。

(註4)令和7(2025)年8月21日、納経所での聞き取り。

(註5)今井(2012)によれば「アニメなど関連するステッカーを貼付した車が「見ていて痛々しい」とことと「イタリア車」を掛けて「痛車」と呼ばれていることを絵馬に転用した呼称」を指す。本稿では、奉納者によってキャラクターイラストが手書きされた絵馬のことをいう。

(註6)キャラクターがプリントされた絵馬のみが陳列されており、それ以外の絵馬は置かれていない。

(註7)当時は女性キャラクター「あなる」(安城鳴子)、「つるこ」(鶴見知利子)、「めんま」(本間芽衣子)の絵馬が販売されていたが、現在は、これらに、男性キャラクター「じんたん」(宿海仁太)、「ぽっぽ」(久川鉄道)、「ゆきあつ」(松雪集)を加えた計6キャラクターのプリント絵馬が販売

されている。単純に比較することは難しいが、世話人によれば、現在でも「めんま」の絵馬が一番よく売れるという。

(註8) アニメのエンディングテーマ「secret base ～君がくれたもの～」の歌詞に「10年後の8月また出会えるのを信じて」とあることから、アニメ放映から10年が経過した令和3（2021）年8月頃には多くの『あの花』ファンが訪れ、関連した語句を書き連ねた絵馬を奉納した（令和3〔2021〕年10月20日、現地踏査、浅見フィールドノートより）。

(註9) 由谷（2014）によれば、「2011年9月に新たに絵馬奉納が始まって以来、2014年3月時点まで一度も絵馬が撤収されていない」といい、少なくとも絵馬が設置されてから数年間、オタキアゲなどは行われていなかった。

(註10) 埼玉県教育委員会は生徒と教員がSNSを交換することを禁止している。ゆえにもっともデータの共有が手軽な方法のひとつと思われるLINEのグループチャット機能等を利用しなかった。とはいえ、膨大なデータであり、生徒のスマートフォンの空き容量を消費することになった。また、破損や誤って消してしまう可能性もあった。しかしながら、本研究に取り組むにあたり共有が必要なデータであることから学校の管理下に置くことにした。共有ドライブには県から支給されるメールアドレス（@st.spec.ed.jp）でログインすることにしたが、生徒は卒業した後、このアドレスを使用することはできなくなるため、資料へのアクセスの永続性という点に難が残る。

(註11) こちらは、調査の時点で基本的には絵馬の交換を実施しておらず、平成28（2016）年頃からの奉納絵馬が残されている。実写映画（2017年）のロケ地にもなっており、坂上拓実を演じた中島健人のファンと思しき人物からの奉納絵馬が多くみられる。

(註12) 分類に妥当性を持たせるために、ダブルチェックの体制を採った。最終的には担当教員である浅見も確認作業を行った。

(註13) 由谷自身も、後の論攷のなかで定林

寺論文における分類項目の曖昧さを自省している（由谷，2016）。

(註14) 漢語には繁体と簡字体とがあるが、由谷（2013）の区分に準じて本調査では区別しなかった。

(註15) 誤訳を防ぐために複数の翻訳ツールを併用した。主に使用したのは、Google翻訳ならびに令和7（2025）年11月時点で公開されていたChatGPT（OpenAI社，GPT-5.1）である。なお、研究そのものには生成AIを用いていない。

## 謝 辞

本稿は授業の一環として高校2年生が実施した調査をまとめたものです。調査に協力いただいた全ての方に感謝申し上げます。校内における成果発表会において伝統文化班のゲストコメンテーターを務めていただいた立教大学教授の逸見敏郎氏には探究活動の幅を広げていただきました。埼玉県立川の博物館の矢嶋正幸氏に投稿を勧めていただいたことで成果を形にすることができました。記して感謝を表す次第です。

## 引用文献

- 天野宏司（2016）アニメ・ツーリズムの導入と課題. 駿河台大学論叢 51：107-121.
- アンドリュース・デール（2015）現代巡礼考：アニメ・ゲームから生まれた聖地. 日本民俗学 283：54-69.
- 浅川泰宏（2025）コロナ禍の聖年. 史苑 85：34-54.
- 長谷部八朗（2006）民俗宗教の諸相. 谷口貢・松崎憲三（編）民俗学講義：生活文化へのアプローチ. pp. 223-240. 八千代出版.
- 今井信治（2012）ファンが日常を〈聖化〉する：絵馬に懸けられた願い. 山中弘（編）宗教とツーリズム. pp. 170-189. 世界思想社.
- 今井信治（2018）フレームから浮かび上がるリアリティ：秩父札所十七番定林寺を例に. オタク文化と宗教の臨界. pp. 209-236. 晃洋書房.
- 岩井宏実（1974）絵馬. 法政大学出版局.
- 川崎のぞみ（2012）秩父三十四カ所定林寺：アニメが描く「秘密基地」という聖地. 星

- 野英紀, 山中弘, 岡本亮輔 (編) 聖地巡礼  
ツーリズム. pp. 150-153. 弘文堂.
- 文部科学省 (2018) 高等学校学習指導要領.  
平成30年告示. 東山書房.
- 岡本 健 (2018) アニメ聖地巡礼の観光社会  
学. 法律文化社.
- 大久根茂 (2024) 埼玉の大絵馬小絵馬. さき  
たま出版会.
- Rosenwein B.H. & Cristiani R. (2018) *What Is  
the History of Emotions?* Polity Press. (伊東  
剛史, 森田直子, 小田原琳, 館 葉月 (訳)  
(2021) 感情史とは何か. 岩波書店.)
- 佐藤久光 (2009) 秩父札所と巡礼の歴史. 岩  
田書院.
- 島田桂一郎 (1971) 埼玉の絵馬. 埼玉新聞社  
出版部.
- 由谷裕哉 (2013) 秩父市定林寺における奉納  
絵馬. 西郊民俗 224 : 1-9.
- 由谷裕哉 (2016) 大洗磯前神社への聖地巡  
礼 : 奉納絵馬に注目して. 北陸宗教文化  
29 : 57-79.
- 由谷裕哉, 佐藤喜久一郎 (2014) サブカル  
チャー聖地巡礼. 岩田書院.